

半田市 報道機関提供資料

蔵出し情報

問合わせ

0569-26-4888
新美南吉記念館
担当 遠山光嗣

令和3年4月1日提供 (事前情報・事後情報)

名 称	『新美南吉記念館研究紀要』第27号 発行
発行日	令和3年3月26日 (金)
発行者	新美南吉記念館
趣 旨 (目的)	新美南吉記念館では、南吉に関する新資料の情報や最新の研究成果を研究紀要にまとめ、年度末に発行しています。今号は以下の2本の論文を収載しています。
内 容	●新美南吉記念館所蔵の中山家文書の紹介 (長屋隆幸) ・新美南吉記念館では、戦国時代後期の岩滑城主で、後に尾張藩に仕えて高名な兵学者を輩出した中山家に関する古文書類を収蔵しています。中山家が「ごんぎつね」に「中山さま」として登場し、その子孫が新美南吉と交流を持っていたことから、平成11年に新美南吉記念館へ寄贈されましたが専門的な資料整理や研究はできずにいました。平成26年から愛知県史編さん室による調査・整理が行われ、2,784点の資料があり、近世尾張藩士の生活や兵学に関する貴重な史料であることがわかりました。そこで長屋隆幸氏 (名城大学非常勤講師) に依頼し、資料の概要と特徴的な資料について論文にまとめていただきました。 ●はからいを捨てられない者の夢～良寛・鳥右エ門・弥厚に託したもの～ (遠山光嗣) ・田舎の庶民を描いた新美南吉の後期作品にあって、「良寛物語」「鳥右エ門諸国をめぐる」「都築弥厚伝」の主人公は、知識人・支配階級・資産家という異質な社会的属性を持ちます。この三作が持つ意味を、作者自身の故郷の人々との関係性とも絡めて、記念館長の遠山が考察しています。
担当者 情熱メッセージ	今号は新美南吉だけでなく歴史の愛好家にも興味を持っていただける内容です。半田市立図書館で借りられるほか、新美南吉記念館で販売もしています。(1冊800円・通信販売可)

半田市企画課広報情報担当
0569-84-0603

